



2月4日からの大雪に係る 鳥取県警戒・情報連絡会議

【日時】 平成30年2月5日（月）9：30～

【場所】 災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

【参加者】

知事、副知事、統轄監、危機管理局、元気づくり総本部、
総務部、地域振興部、観光交流局、福祉保健部、
生活環境部、商工労働部、農林水産部、県土整備部、
企業局、病院局、警察本部、鳥取地方気象台

*各総合事務所、市町村、消防局には衛星配信を実施

目的

- ・2月4日(日)から7日(水)頃にかけて、上空1,500m付近に氷点下12度以下の強い寒気が流れ込み、5日(月)以降も上空5,000mに -33°C の強い寒気が入ってくることから、西日本では数年に1度の強い寒気に見舞われる見込み。
- ・鳥取県では、4日(日)夕方から平地を中心に降雪が強まっており、今後も、5日(月)夕方にかけて大雪に警戒が必要。
- ・このため、気象状況及び被害情報等を共有し、今後の対応等を検討するとともに、引き続き、市町村・県民への注意喚起を図る。

次第

◆知事挨拶

◆議題

- 1 気象の状況及び予測等
- 2 各部局等の対応
- 3 市町村への依頼・県民の注意事項
 - (1)市町村への依頼
 - (2)県民の皆さんの注意事項

1 気象の状況及び予測等

気象台説明

2 各部局等の対応

(1) 県の体制

2月4日(日)23時19分、鳥取・倉吉・米子地区(沿岸部の平地)を対象に大雪警報が発表されたことから、同時刻をもって県の配備体制を「警戒体制(1)」としている。

(2) 対策等

- ①(広域的)迂回路の設定、交通誘導、早期の情報発信
- ②情報共有(国、県、市町村、防災関係機関等)
- ③情報の発信(国・県道等の状況、除雪の状況等⇔コンビニ、ガソリンスタンド、市町村、住民等からの情報も含めて積極的に発信)
 - ・災害情報ダイヤル、ホームページ(トップページの「注目情報」にまとめサイトのリンク貼付)、あんしんトリピーメール、toritter(トリッター)、フェイスブック、Lアラート、Yahoo!防災速報、防災行政無線等での発信
- ④災害時支え愛活動(住民による食料、避難所等の提供等)の支援及び公助との連携
- ⑤福祉施設や医療機関への情報提供及び高齢者や患者等への対応
- ⑥農林水産被害(農作物、ビニールハウス、漁船等)への注意喚起

2 各部局等の対応

⑦燃料配布用携行缶等資機材、職員災害応援隊対応の準備など

⑧救援関係

・職員の動員計画の検討

リエゾン、交通誘導員、物資配給要員等

・自動車燃料の調達

- 県石油商業組合に対し、応援協定に基づいて燃料の調達を要請する可能性がある場合は事前に協力を要請。

（組合員（販売業者）に対して事前に周知（状況に応じた営業時間延長、配給等）を図るよう併せて依頼）

・避難所（休憩所）の確保、食料等の配付

- 立ち往生車両の発生状況（見込み）を注視し、状況に応じて、沿道市町村と対応を協議予定。（空振りを覚悟で早期に準備を進める）

県土整備部の対応

降雪による交通規制の状況

- 今回の降雪による交通規制の実施区間なし
- 5日(月)通勤時間帯までに概ね除雪作業が完了 [今後も作業を継続]

冬期交通確保連絡会議

- 2月2日(金)14:30～開催 [出席者:国交省、鳥取県、岡山県、警察、気象台、関係市町村]
連絡体制や除雪体制など大雪に対する対応について、関係機関(国、県、市町村、NEXCO、警察等)で事前に情報を共有し、連携強化に取り組んでいる

[主な確認事項]

- 連絡体制(ホットラインの活用)、行動計画(タイムライン)の確認
- 情報共有方法(情報共有項目の確認、リエゾンの相互派遣)

[リエゾン派遣]

- 2月5日午前0時からリエゾン派遣 : 鳥取、倉吉河川国道事務所と相互に1名ずつ派遣
- 情報提供方法(トリピーメール、コンビニ、ガソリンスタンドなど)
- 立ち往生車発生時の対応方法の確認(通行止め区間、広域迂回路など)
- スタックポイントへの対策車両の配備
- 2月4日午後23時頃に国道9号白兔地内にてスタック車両を移動

冬用タイヤ装着の確認状況

■ 鳥取自動車道

- 2月5日午前1時～午前3時30分 : 河原IC上り線(佐用方面)、大原IC下り線(鳥取方面)

■ 米子自動車道

- 2月4日午後9時00分～ : 米子IC上り線(落合方面)、久世IC下り線(米子方面)

県土整備部の対応

除雪体制強化【全県】

■職員待機体制・除雪体制等の状況

①待機体制

大雪警報発令時の基準値 48名 ⇒ 今回の対応 138名(+90名)
(県:31 ⇒ 49名、国交省: 14 ⇒ 81名(中国地整管内からの応援13名含む)、NEXCO: 3 ⇒ 8名)

②除雪体制

全除雪車 444台が出動可能な体制を配備 ⇒ 今回の出動状況 224 台
(県: 340 ⇒ 127台、国交省: 86 ⇒ 79台、NEXCO:18 ⇒ 18台)

③情報提供等

- ・除雪状況や立ち往生の発生など、事前・開始・経過状況・完了時などの関係機関との情報共有
- ・2月2日(金)夕方から、トリピーメールで『冬用タイヤの装着』を呼びかけ

④早期の除雪出動(出動基準5~10cm程度)

- ・気象状況に応じた早めの出動を全除雪業者に要請

⑤重点除雪区間の早期交通確保

- ・広域的な交通と緊急車両等の交通の確保のため、除雪機械GPSシステム、ライブカメラを活用し応援除雪も想定した、重点除雪区間の除雪体制を配備

⑥今後の対応

- ・7日まで降雪が予想されるため、引き続き除雪体制を強化し対応

県土整備部の対応

被害状況

2月5日 8:00現在

- ・公共土木施設災害 被害なし
- ・土砂災害等 被害なし
- ・漁船の沈没 被害なし
- ・プレジャーボートの沈没 被害なし

県土整備部の対応

・港湾、空港の除雪状況

【港湾・漁港】

- 臨港道路の除雪概ね完了
- 岸壁等については、利用状況に応じ利用者と調整し除雪。

【県内空港】

➤ 鳥取空港

○適宜、除雪実施中

・滑走路除雪中

※東京発 ANA293 欠航

鳥取発 ANA292、294 欠航

・駐車場の除雪状況は、

P2、P3・・・除雪作業中 ※駐車スペースはあり

P1・・・P2、P3の除雪完了後、作業予定

➤ 米子空港

○空港前駐車場の通路部分の除雪完了

県土整備部の対応

・河川敷の排雪場

関係市町村と設置可能場所等を情報共有済。

⇒ 排雪場の進入路の拡幅等を実施(12月中に完成済)

□ 今後の体制

- ★引き続き、長期化を見据えた体制により、大雪による施設災害の情報収集及び対応を行っていく。
- ★大雪が落ち着いた後も、なだれや融雪による土砂災害等に対応できる体制で警戒していく。
- ★「雪崩や土砂災害等への注意喚起・情報収集など警戒体制強化」を関係市町等へ周知しており、以下の内容について継続して密に情報共有を行う。
 - ☆雪崩や地震による地盤の緩みに伴う災害に注意
 - ☆降雪に伴う水路閉塞等による災害に注意
 - ☆住民への周知(防災無線・HP・電話で情報共有) など
- ★緊急時について、流水に支障が無い河川敷地に排雪するなど柔軟に対応。

農林水産部の対応

1 農業関係

- 果樹・野菜、パイプハウス等施設の雪害対策について、各市町村、JA、県農林局等へ対策を講じるよう連絡。(2/2)
[連絡内容] 果樹・野菜、パイプハウス等施設における降雪期の農業技術対策
- H29.1月および2月の大雪のパイプハウス倒壊被害の経験と反省を踏まえて以下の対策を重点的に注意喚起

耕種農家	<p><白ねぎ>土寄せの徹底、バンド補強(出荷約85%終了)</p> <p><パイプハウス></p> <ul style="list-style-type: none">◇支柱の配置(モウソウ竹、間伐材、直管パイプなどをハウス内部で地面から天部に突き上げる)◇アーチパイプ地際部の補強(経年劣化で腐食が進んでいる場合は、補強用のパイプを差し込む)◇降雪前にハウスを密閉(内部の温度を高く設定し、融雪を促すため)◇防風ネットや寒冷紗を取り除く(雪が滑り落ちにくく、倒壊につながるため)
畜産農家	各JA畜産課、大山乳業、各家畜保健衛生所等を通じて、生産者への注意喚起を依頼。

2 農地・ため池関係

- 「降雪期における農業用施設の安全管理の徹底について」各市町村、県農林局へ指示。(2/2)

3 林業関係

- 各総合事務所(八頭事務所・林業試験場含む)に対して、管内事業者及び各市町村への大雪に係る災害発生防止に向けて情報収集と安全管理の呼びかけ徹底を依頼。
- 各林業関係組合に対して、各組合員への安全対策・安全管理の徹底を依頼。
- 原木しいたけ生産者に対する被害対策の指導・徹底について、きのこセンター・鳥取県椎茸生産組合連合会等へ依頼。
- 県指定管理施設(出合いの森)へ安全管理の徹底を依頼。(※林業関係はすべて2/2実施)

4 水産関係

- 各漁業協同組合や水産関係団体向けに、漁業関係者の安全確保、漁船・漁具、漁港・海岸保全施設、漁業用施設等における防災措置について依頼。(2/2)

地域振興部の対応等

2/5(月) 7:00時点

◆公共交通機関・私立学校等の状況(2月5日)

<公共交通機関>

○運休・部分運休(一部区間で運転取止)が決定しているものは以下のとおり。

[鉄道]

◇山陰本線:普通列車(倉吉(5:48)発浜坂行)、特急はまかぜ(鳥取(6:00)発大阪行)が部分運休

◇伯備線:在来線は通常運行。特急やくも2号(出雲市(4:43)発岡山行)1本が運休。

◇因美線:津山～智頭間の快速、普通列車の計6本が部分運休。

特急はくと2号(倉吉(6:08)発京都行)運休、

はくと6号(倉吉(10:13)発京都行)が部分運休(倉吉～鳥取駅間のみ運転取止)

◇智頭急行:在来線は通常運行。特急はくと2号は運休、はくと6号は部分運休。(因美線再掲)

◇若桜鉄道:通常運行

[バス] 路線バス・高速バスとも通常運行。

[隠岐汽船]フェリー全便欠航 ※高速船はH30.2.15まで休航中。

<私立学校等>

○私立学校:中学・高校は5校が臨時休校(青翔開智中・高、米子北高、米子北斗中・高)

○国立:鳥取大学附属小、附属中、附属特別支援学校は臨時休校

その他の学校、大学等は通常どおり。

観光交流局の対応等

1 大雪による航空便運航(2月5日)への影響等 (5日8:00時点)

【国内線】鳥取・米子空港ともに欠航便あり。今後も運航予定への影響を注視する。

(ANA HP: 日本時間2018年2月5日8:00現在)

鳥取空港 →羽田空港	1便目: 欠航 / 2便目: 欠航 3便目 (11:30発) 以降: 天候状況確認中	羽田空港 →鳥取空港	1便目: 欠航 2便目 (9:35発) 以降: 天候状況確認中
米子空港 →羽田空港	1便目: 欠航 / 2便目: 欠航 3便目 (11:35発) 以降: 天候状況確認中	羽田空港 →米子空港	1便目: 欠航 2便目 (9:25発) 以降: 天候状況確認中

【国際線】運航なし

2 大雪により中止となった県内のイベント等 (5日8:00時点)

- 星取県の未来フェスティバル(2/5 13:30～、於:とりぎん文化会館)は実施予定
- 現在、イベント実施への影響はない模様(中止情報を収集中)
- イベント実施においては最新の大雪情報に注意のうえ判断いただくよう観光連盟から会員(企業・市町村等)に周知
- 公共交通機関の運休情報などに注意していただくよう観光連盟HP、facebookにて案内
- 降雪の推移によっては、観光施設等の被害状況についても確認予定

福祉保健部の対応

■福祉施設・医療機関への注意喚起

・福祉施設、医療機関等に対して、メール・ファクシミリ等で気象情報の提供を行い、大雪に対する警戒や必要な対策を講じていただくよう、注意喚起を行った。

■透析患者等の医療確保

・医療提供体制に支障が生じないよう、医療機関、各福祉保健局、医療政策課において、連絡体制を確保している。

◇福祉施設・医療機関等の被害状況

⇒被害情報なし(2/5(月)am8:30現在)

◇県立施設等の休園・休校状況

・中部療育園(通園・外来診療)・・・ 5日(月)臨時休業

生活環境部

(2月5日(月) 8:30時点)

所管施設

雪の状況に応じ営業時間等を検討。

※氷ノ山響の森は冬期スケジュール（月～水は休み）

対応状況

○歩行型除雪機を使用中の事故の防止に関する注意喚起

消費生活センターから市町村担当課へ消費者への周知を依頼済み、HPに注意喚起を掲載

○水道管凍結防止に関する注意喚起

県下の水道事業者への注意喚起並びに県HPへ掲載

○営繕工事の現場に対して、安全対策の徹底を指示

○石油商業組合に自動車燃料の調達について要請済み

○2/5 星取県の未来フェスティバルは予定どおり実施

商工労働部

県内企業

(2月5日(月) 8:30時点 状況随時確認中)

- 商工団体を通じて企業被害・影響を確認中
 - 併せて、本日以降の雪・低温に対する注意喚起と、除雪時の従業員の安全確認に配慮いただくよう要請。

物流関係

- 県トラック協会を通じて物流関係の状況を確認中
 - 一部で集配便出発が遅れているが、大幅な遅延報告は入っていない。

主要企業等

- 現時点では大きな被害・影響情報は入っていない(引き続き確認中)
 - (江府町：製造業) 従業員への出勤に影響なし。今後、物流に関し集荷に影響がある可能性あり。
 - (境港市：製造業) 従業員駐車場が確保できず、本日休業とした。
- DBSは通常運航中 (2/4東海発、2/5ウラジオへ航行中)

教育委員会の対応

■学校・教育機関への対応等

大雪の影響による安全確保について

- 児童生徒等の安全確保、施設設備の被害防止等について、遺漏がないようメールにより注意喚起を実施。
- 大雪の影響により臨時休業等を実施している学校が発生。

※臨時休業等の学校数については集計中。

3 市町村への依頼・県民の注意事項

(1) 市町村へのお願い事項

① 立ち往生車両（ドライバー）の支援や受入〈公助〉

- 食料、飲料水、毛布の配付・貸与（車両への配付）
- 避難所（休憩所）の提供
- トイレの貸し出し
- ガソリンスタンドとの調整、給油ニーズ聞き取り
- 体調不良者への支援
- 道路情報の提供（渋滞緩和の見通し等） など

② 立ち往生車両の支援や受入〈共助の呼びかけ〉

- 地域住民に対し、防災行政無線等によって情報を提供し、トイレ貸し出し、食料提供等の協力を依頼

③ 公共交通機関（鉄道など）の乗客の支援〈公助・共助〉

- 食糧や避難所の提供

④ 市町村が入手した情報について県等への情報提供

3 市町村への依頼・県民の注意事項

- ⑤今後の気象台等の予測に基づく寒波への対応の再確認
 - ・初動対応として、収集伝達や参集体制(休日・夜間)等の確認等
- ⑥住民への防災行政無線等による気象情報等各種情報の提供、注意喚起

(2) 県民の皆さんの注意事項

- ①自宅周自辺の積雪状況の確認
- ②自宅周辺の災害リスク（土砂災害（特別）警戒区域、浸水想定区域など）と対応方法の再確認
- ③大雪、暴雨雪等が予想される場合は、不要不急の外出、車両の運転を避けること
 - ・孤立のおそれがある地域においては、食料、水、燃料等の十分な備蓄や停電への備え、連絡体制の確保を図ること

3 市町村への依頼・県民の注意事項

④雪下ろし等の除雪作業中の事故防止対策

- ・複数人での作業の実施、命綱などの正しい装着を行うこと
- ・小型除雪機を使うときは、周囲に人がいないことを確認するとともに、安全装置が正しく作動しない状態では絶対に使用しないなど、十分に注意して取り扱うこと
- ・屋根、電線等からの落雪に注意し、「上を見て屋根の雪をチェック」をいつも以上に心がけること

*ブルーシートの上にたまった雪はいったん滑り出すと瓦より勢いがついて、通常より広範囲に落雪する可能性があります

- ・道路や敷地等の雪かきでは雪で用水路などが隠れていることもあるので注意すること
- ・車が雪で埋まった場合、排ガスが車体の下側に溜まり、車内まで入ってくる危険性があるので、車のマフラーを定期的に除雪するなどしてCO(一酸化炭素)中毒にならないよう注意すること

⑤雪崩からの注意

- ・斜面下付近にお住まいの方は、建物の2階などの高く、斜面から離れた場所で生活するよう心掛けるとともに、なだれ注意報等の気象情報やなだれの前兆現象(雪の裂け目や雪の固まりが転げ落ちるなど)に注意し早めの避難に努めること
- ・新雪や晴れの日の雪のゆるみによる屋根からの落雪に注意すること